

コード	201040301
記入日	H23.5.31

事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石 英徳
担当者	坪井 直勝

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	ごみステーション整備事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20104	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	2
事務事業コード	2010403	事務事業名称	ごみステーション整備事業費	細目コード	314
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画		法令・条例規則等	新上五島町ごみ減量化等処理機器（容器）購入費補助金交付要綱	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1)	住民	(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)					
(対象2)	ごみステーション	(対象指標2)	472基					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		<ul style="list-style-type: none"> 新規設置3基(丸尾・曾根・間伏) 補修基数9基(船崎・今里・天神西・浦桑・中野・天神東・青砂・港町・小奈良尾・間伏)20千円 		①	*****	101%	設置・補修事業費+設置・補修計画事業費	*****
				(達成率分析)	設置要望基数3件・補修要望基数9件、計12件の要望があり、全てにおいて業者や職員による補修等を実施した。			
				②				
				(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
		①	*****	100%	設置・補修処理件数+設置・補修要望件数	*****		
<ul style="list-style-type: none"> 経年使用・災害等に伴い、使用に不都合を生じるようになったステーションの補修及び更新。設置の要望があり、妥当と判断される地区への設置。 		(達成率分析)	設置要望基数3件・補修要望基数9件、計12件の要望があり、全てにおいて対応を行った。					
		②						
		(達成率分析)						

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	千円	6,486	6,489	4,269	2,217	2,220			
	②									
成果指標	①	基	30	28	16	12	12			
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	12,786	12,789	9,169	3,617	3,620				
直接事業費 A	千円	6,486	6,489	4,269	2,217	2,220				
人件費 B	千円	6,300	6,300	4,900	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	0.9	0.9	0.7	0.2	0.2			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	2,480	2,480	2,480					
一般財源	千円	10,306	10,309	6,689	3,617	3,620				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	一般廃棄物の処理については、地方自治体の責務である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	一般廃棄物の処理については、地方自治体の責務である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の快適で衛生的な暮らしに貢献する。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	可能な限り迅速な対応を心がけ、要望に応じている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	より安全で衛生的な商品を設置する事が可能。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	そ族・カラス等によるごみの散乱、ハ工・蚊等の不快害虫の大量発生その他、環境への影響は多大である。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	必要最小限の補修及び設置基数に留めている。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最低限の人員である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	町民に負担は発生しない。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はないと思われる。
		有効性	経年使用による破損、住民の高齢化による移動範囲の制限等は避けられない事象であり、事業の有効性は認められる。
		効率性	迅速な対応を心がけているが、新規の設置については要望に応えるまで多少の時間を要する場合がある。
	課題に向けた改善策	経年使用によるステーションの破損については、出来るだけ補修を行い、新規設置要望については、地区住民と十分な協議を行い設置する。	
2次評価	妥当性	1次評価のとおり。	
	有効性	住民の利便性の後退とならないよう、ごみステーションの維持管理は適正に行うこと。また、地域の要望等に関しては十分協議し対処すること。	
	効率性	維持補修の経費は節減に努め適正に執行すること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。